

# みんなの議会

2017.8.1



## 今号の内容

- 6月定例会で決まったこと……………2
- 一般質問 町に聞いてみました…6
- 各委員会からの活動報告……………13
- まちの声……………14

# 6月定例会で決まったこと

会期：6月6日～15日（10日間）

## 6月定例会に提出された議案など

●町長提出議案10件（人事関係3件、報告1件、29年度補正予算2件、その他4件）  
 ※採決の結果などについては、4ページの「議案などの審議結果」をご覧ください。

平成29年第2回定例会が6月6日から15日まで開催され、町長から提案された人事案件や平成29年度補正予算、物品購入契約の締結などの議案が審議されました。

## 茂木良一さんを教育委員に任命しました

平成25年6月21日から東吾妻町教育委員会委員をされていた茂木良一さん（植栗）が6月20日を

もって任期満了となるため、引き続き茂木さんを6月21日付けで東吾妻町教育委員に任命することに同意しました。

茂木さんは昭和45年から38年間にわたり教職に携わってこられ、昨年の6月からは教育委員会委員長を務められました（任期は平成33年6月20日まで）。



茂木良一さん

## 懲戒審査委員会委員を選任しました

東吾妻町懲戒審査委員会委員の任期満了に伴い、引き続き市場和政弁護士（前橋市）と新たに二階堂慎弁護士（高崎市）の2名を東吾妻町懲戒審査委員会委員に選任することに同意しました（任期は平成31年6月29日まで）。

## その他決まったこと

- 物品購入契約の締結  
 消防ポンプ自動車購入（第1分団第2部）で納期は12月末までの予定。  
 ●契約金額：2300万円
- 契約相手：（株）佐藤工業所 代表取締役 伊藤英明（前橋市）
- 物品購入契約の締結  
 消防団員用の雨衣の購入。  
 ●契約金額：733万3200円

## 平成29年度補正予算一覧（第1号）

会 計 名	補 正 額	予 算 総 額
一 般 会 計	7005万円	92億4205万円
国民健康保険特別会計	事業勘定	22億3878万円
	施設勘定	1億90万円

## 平成 29 年度に繰り越すことが決まった事業

事業名	金額
庁舎建設事業	3521万円
個人番号カード交付事業	118万円
臨時福祉給付金事業(経済対策分)	608万円
地域介護・福祉空間整備等補助金交付事業	84万円
農業基盤整備促進事業	767万円
地籍調査事業	1190万円
特用林産物生産活力アップ事業	72万円
ダム関連道路事業(町道松谷・六合村線)	3000万円
橋りょう補修事業	4374万円
小学校空調設備整備事業	9150万円

● 契約相手…温井自動車工業(株) 代表取締役 温井勲雄(高崎市)

■ 工事請負契約の変更締結

4・24号橋(梁瀬橋)

の補修工事で、請負代金などを変更するもの。

● 変更後の金額…565万6400円

● 契約相手…池原工業(株) 代表取締役 池原純(東吾妻町)

■ 工事請負契約の締結

原町幼稚園園舎の増築工事で、工期は平成30年1月31日まで。

● 契約金額…1億7604万円

● 契約相手…南波建設(株) 代表取締役 南波久美子(東吾妻町)

平成29年第2回臨時会(5月15日)で決まったこと

■ 専決処分の承認(平成28年度東吾妻町一般会計

## しゃちょうてい 謝長廷駐日代表が来町



議会議場で挨拶される謝長廷 駐日代表(6月7日)

第2回定例会中の6月6・7日、台北駐日経済文化代表処の謝長廷駐日代表が町を訪れ、町内の観光施設などを視察されました。

補正予算(第6号)

■ 専決処分の承認(東吾妻町条例等の一部を改正する条例)

町道松谷六合村線(町道三島松谷線) 改築事業で、工期は平成30年3月31日まで。

● 契約金額…8000万円

■ 専決処分の承認(東吾妻町国民健康保険条例の一部を改正する条例)

● 契約相手…群馬県知事 大澤正明(前橋市)

# 議案などの審議結果

議案名等	議員名等	出席者数	賛成	反対	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	議決日
						一場	里見	小林	重野	竹淵	佐藤	根津	樹下	山田	茂木	金澤	青柳	須崎	浦野	
<b>第2回 臨時会 平成29年5月15日</b>																				
専決処分の承認（平成28年度東吾妻町一般会計補正予算（第6号））		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5/15
専決処分の承認（東吾妻町税条例等の一部を改正する条例）		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5/15
専決処分の承認（東吾妻町国民健康保険税条例の一部を改正する条例）		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5/15
工事委託契約の締結（町道松谷六合村線（町道三島松谷線）改築事業）		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5/15
<b>第2回 定例会 平成29年6月6日～15日</b>																				
東吾妻町教育委員会委員の任命		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/6
東吾妻町懲戒審査委員会委員の選任		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/6
東吾妻町懲戒審査委員会委員の選任		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/6
平成29年度東吾妻町一般会計補正予算（第1号）		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/14
平成29年度東吾妻町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/14
物品購入契約の締結（消防ポンプ自動車購入）		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/14
物品購入契約の締結（消防団員用雨衣購入）		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/14
工事請負契約の変更締結（4-24号橋（梁瀬橋）補修工事）		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/14
工事請負契約の締結（原町幼稚園園舎増築工事）		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/14
東吾妻町健康増進センター「であいの館」移設に関する陳情書		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/14

可…可決、否…否決、○…賛成、×…反対、欠…欠席、／…退席 ※議長（1番）は採決に加わらないため「-」で表示



議事録（会議録）をホームページに掲載しています

議会の定例会・臨時会の議事録をホームページに掲載しています。

また、本会議の議事録、委員会や議員全員協議会の会議録は、閲覧できるように、議会事務局に備え付けています。

『請願』『陳情』のしかた

◎請願・陳情とは  
町政に対する皆さんの意見や要望を「請願」「陳情」として受け付けています。

町議会議員の紹介があるものを請願、ないものを陳情といいます。

◎請願・陳情の書き方と提出方法

- ・受付締切日：定例会前にかかれる議会運営委員会の前日（土・日・祝日の場合は、その前日の午後5時15分まで）
- ・提出先：議会事務局
- ・必要記載事項

請願（陳情）の表題、請願（陳情）の趣旨、理由、提出年月日、請願（陳情）者の郵便番号、住所、電話番号、氏名、印

請願の場合は、紹介議員の署名（または記名押印）

あて先（東吾妻町議会議長）

その他

邦文で記載してください。

◎請願・陳情とは

町政に対する皆さんの意見や要望を「請願」「陳情」として受け付けています。

町議会議員の紹介があるものを請願、ないものを陳情といいます。

◎請願・陳情の書き方と提出方法

- ・受付締切日：定例会前にかかれる議会運営委員会の前日（土・日・祝日の場合は、その前日の午後5時15分まで）
- ・提出先：議会事務局
- ・必要記載事項

請願（陳情）の表題、請願（陳情）の趣旨、理由、提出年月日、請願（陳情）者の郵便番号、住所、電話番号、氏名、印

請願の場合は、紹介議員の署名（または記名押印）

あて先（東吾妻町議会議長）

その他

邦文で記載してください。

# 皆さんからの請願・陳情

陳情	採択	東吾妻町健康増進センター「であいの館」移設に関する陳情書（内容：運営の継続、移設時期・移転先の早期確定、公表をお願いするもの）	東吾妻町大字箱島1002 池田 駿介ほか472名	総務建設常任委員会
----	----	---	-----------------------------	-----------

## あの請願・陳情はどうなったか？

採択した請願・陳情の処理状況が報告されました。

内 容	処 理 状 況	
町道3005号線（本宿上の原）舗装工事のお願い	平成21年6月採択	処理中
坂上地区のバス運行に関する陳情	平成22年12月採択	処理中
町道程岩・堂ヶ沢線改修工事を求める陳情	平成22年12月採択	処理中
町道1281号（程岩）線改良工事を求める陳情	平成22年12月採択	処理中
請願書 公衆用道路の拡幅改良について（大戸下宿区長）	平成23年6月採択	処理中
陳情書 町道鳩の湯線の拡幅改良について	平成23年6月採択	処理中
「農山漁村活性化プロジェクト支援交付金（農林水産省）」事業等導入促進に関する請願書	平成25年3月採択	処理中
地元小規模零細商業者への東吾妻町公共施設の発注拡大に関する陳情	平成25年9月採択	処理中
陳情書（坂上地区からガソリンスタンドを無くさないために早急に対策を）（大戸診療所友の会）	平成25年12月採択	処理中
陳情書（坂上地区にガソリンスタンドを確保するため、事業者の確保と支援を）（坂上地区区長会長会）	平成25年12月採択	処理中
陳情書 町道新井・横谷・松谷線（厚田～三島間）の拡幅改良工事	平成26年3月採択	処理中
陳情書 公衆用道路の拡幅改良について（大戸上宿区長）	平成26年6月採択	未決
陳情書 町道5267号線の道路改良拡幅工事（辻区長）	平成26年9月採択	未決
萩生地区活性化拠点 観光案内看板・休憩所設置に関する陳情（萩生地区活性化推進委員会）	平成26年12月採択	処理中
十二ヶ原第二畜産団地の排水について【請願】（植栗区長）	平成27年3月採択	完結（平成28年度 排水沈砂池浚渫工事完了）
町道長寿園線の改良工事に関する陳情書（関谷区長）	平成27年3月採択	処理中
橋梁の架け替えと町道拡幅に関する陳情（漆貝戸区長）	平成27年9月採択	未決
東吾妻町弓道場の新設に関する陳情書	平成27年9月採択	未決
安心して住み続けられる坂上地区づくりに関する陳情（トイレ・GS・直売所）	平成27年12月採択	未決
東地区の子育て環境の整備に関する陳情書	平成27年12月採択	完結
町道5085号線拡幅改良工事に関する陳情書（在下・上野区長）	平成27年12月採択	未決
上信自動車道の開通に伴う発展政策提言の陳情書	平成27年12月採択	未決
硬式テニスコートへの改修に関する陳情書	平成28年3月採択	処理中（平成29年度予算措置）
町立中学校の運営についてのアンケート調査実施に関する陳情書	平成28年3月採択	未決
町道新井・横谷・松谷線拡幅のお願い	平成28年9月採択	未決

未決…どのような方法で行うか決定されていない

処理中…着手し進行中

# 問 質 一 般

## 町に聞いてみました

このコーナーでの質疑応答は編集してあります。本会議中の正確なやり取りについては、町ホームページの会議録（9月中旬に掲載予定）をご覧ください。

**Q** 町の防災行政の今後の方向性は

**A** 平成32年度までに防災行政無線のデジタル化を進めたい



佐藤 聡一 議員

**Q** 平成7年に導入したアナログ形式の防災行政無線の切り替え時期が平成34年までに迫っているなか、屋外拡声器や戸別受信機の不備を考え、至急デジタル方式に更新する必要があると思われ

ているようである。町が財源として考えている合併特例債や緊急防災・減災事業債の有利な起債も平成32年度には終わり、最終年度の事業費は自費になる可能性もある。せっかく有利な起債が使えるのであれば、なるべく早い時期にデジタル化を進めるべきだと思いが

も今後必要になる。

るか。

また、庁舎の温泉センターへの移転工事が動き出し、平成30年12月には引越しを予定している庁舎内に、防災室も設置されている。町の計画でも、防災行政無線デジタル化移行に向けた整備事業として、平成30年度に4000万円、31年度に2億4000万円、32年度に6000万円、33年度に6000万円、トータル4億円で計画し

平成32年度までに有利な起債を使い整備を進めたい。

吾妻全域での防災行政を吾妻郡町村会では共同化も含め考えてい

現在のところ検討されてい

**Q** 自主防災リーダーの育成は

**A** 今後検討してまいりたい

平成32年度までに有利な起債を使い整備を進めたい。

災害時に支援物資が届かない隠れ避難所を、ヤフィーではスマホのGPS位置情報で把握するようであるが、SNSの利用は考えているか。

本県の防災士は848人で東吾妻町は6人。都道府県別では下から5番目と少ないが、日本防災士機構と行政のつながりが薄いので、渋川市の自主防災組織・自主防災リーダーの育成を見習い、当町でも組織、マニュアル整備や各公民館

などに防災無線を設置し、区長や防災リーダーを中心とした連携ができるようなシステムを構築したらどうか。また、渋川市同様、防災機材の購入補助を考えたらどうか。

町も、県の補助を含め今後検討したい。

**Q** 公民館（地区公民館）活動や機能の充実は

**A** 住民ニーズにあった事業を積極的に取り入れたい

公民館には多くの役割

や機能が期待され、また新たな課題への対応が求められている。しかし近年少子高齢化が進み、また考え方や生活の変化と共に各地域が変化してきている現実もあり、現在の行政区でどこに大きな

問題点があるか問う。

**Q** 地区の連携を高めるため各種団体の連携調整を行うと共に、自由で自発的な活動の推進また各種支援は。

**A** 各種講座の開設、図書室の運営、行政区や団体への施設の貸出し、広報誌も公民館独自で発

行し地域への情報発信を行っている。支援では会議の場所の提供や事務的な支援など行い、今後

も公民館が地域の皆さんと協調し活性化を図ってきたい。

**Q** 公民館が子供から大人まで学ぶ生涯学習の推進、情報を目指し、地域の拠点として積極的に

活用されていくには。

**A** 住民ニーズにあった魅力ある講座の開設や社会全体の課題である健康・介護・環境に関する事業も積極的に取り入れていきたい。

**Q** 5地区への区長配布物は、1区は班別に

分けて届けられ、他の4区は仕分けされずに区長

役場で分け区長宅へ

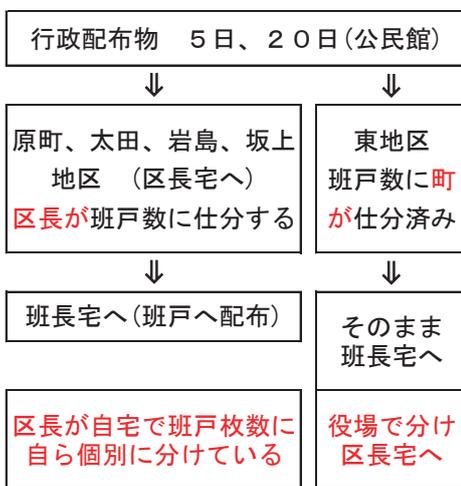
に届けているが、5地区に差があるのは行政の公平、公正な観点から町長の認識を伺いたい。

**A** 区長及び班長の皆さまには地域の窓口として町政の報告及びお知らせを行う広報誌や毎戸に配布すべき文書などの配布など規則に明記して職務をお願いしている。配布方法などについて、さまざま意見要望などあるが、行政区については、長きに渡り地域自治及び地域協働活動の単位として育まれてきたものであり、班数や戸数も多少さまざま組織が存在している。引き続き地域の窓口としてご協力をお願いしたい。



山田 信行 議員

●東吾妻町における区長文書配付の流れ



**Q** シニア世代の社会活動の活性化は

**A** い効果的に取り組みたい

**Q** シニア世代の社会活動が求められる社会活動の場を確保することが大切と思うが、活動への支

**A** 援は。今後の地域づくりに向け、効果的な取り組みができるよう対応したい。



自己触診の方法

**Q** 乳がん対策として自己触診の啓発を

**A** 健康教育を実施していく

**Q** 三大疾病の一つにがんがある。女性の

ん罹病1位は乳がん、早期発見早期治療が大切だ。検診は40歳からだが20代から発症が見られるという。中学校に医師を招きがんについての講話を行ったところ、家庭で話題になり受診率が圧倒的に上がった町がある。

的に上がった町がある。

当町は小学6年生にがん教育を行っているが受診率は上がっているか。乳がんは怖い病気だが、唯一自分で見つけられるがんとも言われる。自己触

診の方法もさまざまだが若い母親が集まる乳児健診の場などで風呂場に張るチラシを配付したり、映像や乳がん用触診模型を使って自己触診を啓発すべきである。

**A** 当町の乳がん検診率は20・1%で目標の50%にはほど遠い。乳児健診に乳がん認定看護師を導入し、検診の必要性について講話を行ったり教育の場でも医師による健康教育を実施していく。

は20・1%で目標の50%にはほど遠い。乳児健診に乳がん認定看護師を導入し、検診の必要性について講話を行ったり教育の場でも医師による健康教育を実施していく。

**Q** 大人版#8000番

**A** 適切な医療を受けるため検討していく

**Q** 救急車を呼ぶのではなく、病状を相談し次の行動を相談できる電話相談窓口がある。主に夜中の子どもの急病相談は県（#8000番）で

対応しているが、大人版は各自治体で対応している。当町も取り組むべき。適切な医療を受けるため検討する。近隣では婦恋村が取り組んで

いる。各機関との連携を研究、検討していく。



青柳はるみ議員

**Q** 「お互いさま」の取り組みに支援を

**A** 各機関と連携して進していく

**Q** 住民の自主事業の1つにサロン活動がある。にぎやかに仲良く実施して、集う人も増えている地域がある。未実施の地域の後押しをして、どうしたらできるか住民に寄り添ってほしい。実施すると1人400円の補助が出るが、多くの人が活用することで、集う楽しさを感じてもらいたい。

**A** 町内33のサロン活動は、区長さんをはじめ民生委員・ボランティアの方々が運営に携わっておられる。非常に重要な活動だと認識しているので、多くの地域で活動されるよう、町福祉協議会と連携し推進していきたい。

## Q 高齢者対策について

### A 住民主体の活動支援として協議体の設置を進めていく

**Q** 急激に進んでいる東吾妻町の人口減少と増える高齢者についての対策は。

**A** 2040年に1万人の人口維持を目指すため、「総合戦略」を策定し36件の施策を着実に展開していく。また、増加する高齢者については地域包括ケアシステムを構築し、高齢者を支える体制づくりとして、住民が担い手として参加する住民主体の活動を支援するため、協議体の設置を進めている。

**Q** NPO法人「さかうえ」では、移動手段がなく、買い物・病院や役場に行けない高齢者に対してドア・ツー・ドア



小林光一 議員

の生活支援バス運行サービスを7月から始める予定である。このような試みに対して支援を行う仕組みを作るべきでは。

**A** 先行して行っている同種の事業に同様の補助を支出することになったり、そのほか民間事業者が行っている宅配サービスや移動販売の取り組みにおいて事業の圧迫になりかねず、慎重な検討が必要と考える。

**Q** 坂上地区の住民の医療所を担っている大戸診療所の経営は、現在大変厳しく、撤退も考えざるを得ない状況である。町からの支援が今後必要と思うが、町長のお考えは。

**A** 町からの助成については公平性・中立性を堅持しつつ、今後どのような支援ができるか検討していきたい。

**Q** 認知症高齢者への対策は。

**A** 認知症徘徊高齢者の早期発見と安全確保のために、GPS端末の貸与を始めている。また、家族支援として認知症家族会を毎月1回保健センターで実施し、認知症アドバイザーが対応している。

る。さらに、得られた情報については吾妻警察署と情報共有できることになっている。

**Q** 特別養護老人ホームへの待機者が多いことから、特別養護老人ホーム増設は急務である。今後の計画は。

**A** 平成28年度に50床の特別養護老人ホームの募集が計画されたが、設置希望者がなく断念した。現在、具体的な計画はない。



町からの支援が必要と思われる大戸診療所

## Q どうなっているのか! 町の各種補助金制度は

## A ホームページなどで補助 金の事業案内をしている



須崎幸一議員

は何か。

**A** どれも効果的で必要  
と考えているが、住  
宅新築改修等、電柵設  
置などに対する補助金、  
社会福祉協議会、観光協  
会、商工会など各種団体  
への補助金などが特に有  
効的に活用されている。

**Q** 小冊子を作成し町民  
に周知することはでき  
ないか。

**A** 小冊子については、  
毎年見直しが必要と  
なることや印刷する時期  
などで提供する情報が正  
しく伝わらない事も考え  
られる。補助金事業の周  
知については、年度初め  
に「区長、区長会長会議」  
や町のホームページで、

**Q** さまざまな補助金制  
度の中で、その目的  
に対し特に効果的なもの

各課の事業案内を行って  
いる。

**Q** 見直しや新規の制度  
を検討しているのか。

**A** 事務の適格性、公平  
性に努め、必要かど  
うかを含めて、制度の内  
容を検討していきたい。

**Q** 町のホーム  
ページで見直  
す点があると考え  
るが。

**A** 総括的に見て、  
わかりやすい  
補助金制度のペー  
ジ設置を考えたい。



住宅改修補助金制度を利用した建物

## Q 補助金制度の具体的な提案につい てどう考えるか

## A さまざまな角度から見て公益上必 要であるか検討したい

**Q** 新規認定農業者に対  
する町の支援金制度  
を導入したらどうか。

**A** 国や県の動向を見な  
がら農業振興のため  
の施策を検討する。

**Q** 地元企業で働く町民  
に対し仕事上必要と  
する資格取得に補助金を  
出すことはできないか。

**A** 町内の就労者人材育  
成ととらえて検討し

ていきたい。

**Q** 薪ストーブに対する  
補助制度の創設につ  
いてはどうか。

**A** 地球温暖化対策や森  
林の多面的機能の向  
上、木材関連事業の活性  
化に有効なので、今後役  
場内でも検討したい。

**Q** 町道に係る民有地の  
支障木伐採費用の個  
人負担軽減として、補助

金を出すことはできない  
か。

**A** 民有地からの倒木に  
より町道の通行に支  
障を及ぼしている場合や  
通行不能の場合は、町が  
撤去をしている。町道な  
どに隣接した民地の立木  
が倒木の恐れがあるから  
といって、伐採費に対す  
る補助金を支出すること  
は考えていない。



**東洋大学との連携、その効果は**



**臨地実習や大学で町内企業の説明やPRを実施**

**Q** 今、産官学の連携や共同開発に大きな注目が集まっている。町目においても、平成27年3月に東洋大学との連携に関する包括協定が締結された。その目的と効果についてどのように考えているか。

**A** 東洋大学は以前から男子陸上競技部の合宿を坂上地区で行っており、平成26年からは食環境科学部との連携を実施してきた。その後、当町と大学が相互の資源を活用し地域社会の発展や学生の人材育成などを目的

として協定が締結された。以降、女子陸上競技部との交流や健康栄養学科4年生の臨地実習などを実施しており、また板倉キャンパスのパネル展には、町内企業の会社説明などを展示し町のPRをしている。

**Q** 例えば高知県津野町では、高知県立大学と域学連携協定を締結し、人口の減っている集落に

学生が入り住民と交流しワークショップを行うなどの取り組みがなされている。参考になる事例とと思うがどうか。

**A** 今後さらに多くの学生に当町に来て意見もいただき、地域の活性化を図るような取り組みをしていきたい。



**緊急時の行動に関する住民への周知は**



**町ホームページや広報に掲載した**

**Q** 平和主義と国際協調をうたった我が国の憲法と逆行して、現実の世界はテロや紛争を繰り返している。日本も近隣周辺国の軍事的脅威が高まっている。政府は、緊

急時の行動に関する国民保護ポータルサイトの立ち上げや、各地方自治体に住民に対する周知の徹底を指示した。当町はどのように実施したのか。



重野能之議員

**A** 町ホームページや6月の広報お知らせカレンダーに掲載した。  
**Q** 地方創生調査特別委員

**国民保護ポータルサイト**  
武力攻撃やテロなどから身を守るために



事前に確認しておきましょう。  
[http://www.kokuminhogo.go.jp/shiryou/hogo\\_manual.html](http://www.kokuminhogo.go.jp/shiryou/hogo_manual.html)



ミサイル落下時には、こちらから政府の対応状況をご覧になれます



首相官邸  
ホームページ  
[www.kantei.go.jp/](http://www.kantei.go.jp/)



Twitterアカウント  
首相官邸災害・危機管理情報  
[@Kantei\\_Saigai](https://twitter.com/Kantei_Saigai)

内閣官房 国民保護ポータルサイトより



## 連携自治体との今後の取り組むべき施策



### 情報交換の場を設置し交流

移住のためのお試し施設



**Q** 平成26年12月議会で、友好自治体の杉並区とそれまでの交流から新たな段階へとステップアップしていかなくてはならないのではないかと質したところ、町長の答えは「今までになく友好的に行われている」とのこと。しかし、当時町民からは杉並との関係を危惧する声が多数聞こえた。昨年策定した「まち・ひと・しごと地方創生総合戦略」で交流自治体と連携をうたっているものは地場産品都心販売事業だけ。朝市と杉並フェスタ

の同事業が明記されているが、2年半前もこの2点を上げた。26年6月議会で事業連携を積極的に進めると答弁している。当然、新規の施策を行っていると思う。さらに移住に関しては杉並区民に対しては既に行っているかと思うので答弁を求め

**A** 情報交換の場の「交流自治体連携フォー

ラム」を行っている。移住のためのお試し施設は1年間経ったが利用はない。



金澤 敏 議員



**A** 既存資源を活用した産業・雇用の創出



**Q** 人口減少社会における農山村の活性化対策

**Q** 政府の地方切り捨ての政策で、農山村の人口減少は今までの予想を超えて進み、これまでの行政の手法では対処できないところまで進む。発想の大転換なくしてこの急激な人口減少は止ま

らない。年250から300人減少との認識だったが、過去3年平均350人強減少し減少幅は確実に増えている。これまでの発想を根本から変えて真剣に取り組まない住民自治そのものが機能

しなくなる。遊休農地や耕作放棄地の問題も人口減少と比例して拡大していく。現在でも有害鳥獣による被害は深刻な問題で、今後ますます当町全体に暗い影を落としていく。このようなこと一つとっても周辺地域に拡大する耕作放棄地の有効利用など、地域活性化を促進し、さまざまな問題の解決を目指していかなくてはならない。

**A** 交流自治体と連携した「食」によるまちおこしや「既存資源を活用した産業・雇用の創出」のための事業を推進している。

# 各委員会からの活動報告

## 議会運営委員会

①議会報告会について  
5月26日に行われた議会運営委員会において、本年度も11月ごろの実施とすることで協議をいたしました。今後、委員会としても議員の皆さんの意見や要望を伺いながら、議会報告会の形を作っていきます。



11月に予定している吾妻高校生議会（写真は2月に行われた時のもの）

②高校生議会・中学生議会について  
本年2月17日に実施された「吾妻高校生議会及び懇談会」は、ご参加いただいた高校生、また執行部の皆さんや議員にとっても、大変有意義なものであったと考えています。今年度は高校生議会のみならず、中学生議会の実施に向け調整が進められ、吾妻高校生議会は11月14日（火）の午後

議会は11月30日（木）の午後後に実施する方向で内諾をいただいています。これから当委員会を中心として細部の調整を行い、実施に向けてまいります。

## 地方創生調査 特別委員会

### ● 渋川市視察

5月19日、渋川市役所にて市政相談員、自主防災リーダーについて説明

を受けました。また、駅前の空き店舗を活用し、商工会と高校生が話し合いながら運営をしているスタディバンクを視察しました。  
渋川市は、わが町と同じく合併した市で、住民と共に取り組む街づくりには、取り入れたいものがありました。

## 議会広報対策 特別委員会

第2回定例会会期中中の6月12日に委員会を開催し、議会だより編集要領



6月12日に根津委員長が就任し、新たな顔ぶれでスタートしました。

について確認しました。案件審議や委員会報告、一般質問の掲載などについて、議員の皆さんに協力していただきながら、わかりやすい紙面づくりに努力したいと思います。

## 写真を募集しています!!

「議会だより」に掲載する「町の風景」や「行事」などの写真（コメントも）を募集いたします。掲載時期などは、議会広報対策特別委員会に一任させていただきます。なお、人物が特定される写真は、その方の了解を得てから応募してください。

# まちの声

## 「箱島ほたるに思う」

内海 勝さん

(箱島／箱島ほたる保護の会会長)

私がほたるの保護活動に参加して早三十年が過ぎました。現在六十四歳です。

箱島のほたる保護活動が始まって三十七年になります。

よく私達より年上の方は、昔はどこに行っても時期になると、ほたるが数えきれないくらい舞っていたという話をよく聞きます。当時は農薬やU字溝などもなく、ほたるが住みやすい環境だったのでしょう。しかし、箱島ほたるも激減してゆき保護活動が始まりました。公民館関係者や歴代会長、保護の会の皆さんのおかげ



で、沢山の数のほたるが舞うようになりました。今では県内はもとより、埼玉、東京、横浜、遠い所では、関西からも観賞者の方々が来られています。ほたると言えば箱島と言われるまでになりました。

会の方向性としては大きなイベントやほたる祭などは行わないで、愚直に保護活動を行くのが基本です。

また町内の小中学生にはほたる学習会を、教育委員会や学校関係者の方々にお世話になり、開催しています。将来、町に残る子や都会に出る子、色々な人生を生きると思いますが、一人一人の思い出の中に生きて、親になり私達の生まれた町は、ほたるが舞い自然豊かな素晴らしい所だと語られたら大変嬉しいです。

また、ほたるは環境のバロメーターと言われています。環境と開発の調和を望んでいます。名水とほたるは私達町民の宝です。いつまでも光輝く為のつなぎ役でありたいと思います。

### 議会を傍聴してみませんか！

議会の会議は、特別な場合を除き公開されています。傍聴希望の方は、役場3階の議会事務局までお越しください。

次回の定例会は9月5日開会予定

#### 9月定例会予定表

日	月	火	水	木	金	土
3	4	5 ← 本会議	6 本会議	7 常委	8 常委	9
10	11 特委	12 特委 全協	13	14 本会議	15 本会議	16 →

※予定ですので、詳しくはお問い合わせください。  
常委：常任委員会、特委：特別委員会、全協：議員全員協議会

一年の半分が過ぎ、夏真っ盛りとなりました。夏休みの子供達の声と蝉の音が町の隅々に響いている事でしょう。第46号は、六月定例会の審議を中心に編集されており、定例会中、議会広報対策特別委員会の構成に変更があり、新しい体制で編集に取り組みしました。二元代表制の一翼を担う議会の審議がどのように行われているのか、正確でわかりやすい誌面づくりを努力して行きます。町のみ

なさんが何に直面し、どう考えているのか。私たち町議会議員に何が出来ることが。そうしたことを、大勢のみなさんと考えて行く場になればと考えています。  
(根津光儀)

編集後記

議会広報対策特別委員会

- 委員長 根津 光儀
- 副委員長 重野 能之
- 委員 里見 武男
- 委員 茂木 恒二
- 委員 金澤 敏
- 委員 青柳 はるみ
- 委員 須崎 幸一